

松下ゆきよし

Vol.6

〈発行日〉
平成28年10月20日

県政活動レポート

発行責任者／愛媛県議会議員 松下行吉 連絡先／〒791-2141 伊予郡砥部町岩谷口135 TEL (089) 969-3605

愛媛県議会定例会（平成28年9月）の概要

第348回愛媛県議会定例会（平成28年9月定例会）が、9月12日から10月6日までの25日間の会期で開催されました。

ほとんどの地方議会は、2月、6月、9月、12月の4回、定期的に議会を開きます。これを定例会と呼びますが、その中でも、2月と9月は重要な定例会となります。2月は当初予算の審議、9月は年度の半ばということで比較的規模の大きな補正予算が提出されてきます。また、条例改正などの議案も多く出てきますし、党派の代表質問があります。

9月定例会の概要をお知らせします。

1 可決議案ほか

9月議会で可決された議案は26案件です。内訳は補正予算2、条例改正5、その他8（財産の取得1、負担金額の変更2、工事請負契約の締結5）、人事案件4、意見書6、決議1です。人事は、教育委員、公安委員、土地利用審査委員の任命同意です。砥部町在住の渡部智

磨子さんが公安委員に新任されました。そのほかに、平成27年度歳入歳出決算に係る健全化判断比率など報告11件。請願5件は不採択としています。また、平成27年度各会計の決算認定は、決算特別委員会で継続審査となっています。

2 補正予算

補正予算の内容は、表1、2、3のとおりです。今回は3年連続100億円規模の積極予算となっています。先に6月としては大型の補正予算を組みました。また、国の第2時補正予算が10月11日に成り立ちましたので、関連して県でも追加補正を準備しているようです。

平成28年9月補正予算の概要

(表1) 予算規模

◆ 一般会計補正予算 107億690万円	【累計 6,618億1,691万円】
◆ 企業会計（1会計） 395万円	【累計 617億5,257万円】

(表2) 歳入予算（一般会計）

区分	補正予算額	備考
地方交付税	5,952万円	普通交付税
分担金及び負担金	1億5,707万円	県単独緊急防災・減災対策事業にかかる土木費負担金
国庫支出金	8億556万円	医療介護提供体制改革推進交付金、地方創生交付金 など
繰入金・財産収入	1億6,431万円	地域医療介護総合確保基金繰入金 など
繰越金	32億9,244万円	決算剰余金
諸収入	20億300万円	中小企業振興資金貸付金 など
県債	42億2,500万円	県単独緊急防災・減災対策事業への充当予定額 など
合計	107億690万円	

(表3) 歳出予算

1 県民の安全・安心確保対策の推進(※)：12事項	44億7,244万円
(1) 県単独緊急防災・減災対策事業	44億5,000万円
①緊急輸送道路等の整備	25億円
②河川、海岸、港湾施設の改修	8億2,850万円
③土砂災害を防止する砂防施設の整備	6億800万円
④がけ崩れ防災対策の促進	2億6,350万円
⑤河川の氾濫を防止する河床掘削の推進	2億5,000万円
(2) 熊本地震の課題を踏まえた計画策定	2,244万円
①公共土木施設応急復旧ガイドラインの策定	983万円
②応急仮設住宅建設ガイドラインの策定	522万円
③道路啓開(けいかい)計画の改定(※)	739万円
2 当面する課題への対応：40事項	62億3,446万円 【企業会計1会計395万円】
1 産業の振興	21億3,175万円
(1) 農林水産業の振興	4,527万円
①農林水産業ワンストップ就業支援ウェブサイトの整備と「えひめ愛顔の農林水産人」の情報発信	658万円
②就業相談会の開催等による林業の担い手確保の促進	1,300万円
③南予の柑橘生産システムの日本農業遺産認定に向けた推進体制の構築など5項目	2,569万円
(2) 商工業の振興	20億2,131万円
①中小企業者の資金繰り支援(融資枠50億円拡大)(※)	20億円
②中小企業等の人材確保のための新規学卒者向け合同会社説明会等の開催	1,256万円
③四国フェア開催によるロサンゼルスでの販路拡大など3項目	875万円
(3) 観光の振興	6,517万円
①体験ツアー隊による四国一周サイクリングルートの情報発信	3,068万円
②松山空港国際線の安定運航を確保するための支援制度の創設(※)	746万円
③中国・西安への観光・物産情報拠点の開設など5項目	2,703万円
2 医療・福祉の充実	6億933万円
(1) 地域医療の充実	5億5,759万円
①ドクターヘリの運航経費(※)	4,383万円
	【うち病院事業会計395万円】
②ドクターヘリ運航開始式の開催	96万円
③病床の機能分化連携基盤整備や医療従事者職場環境整備の促進	1億1,280万円
④聖カタリナ大学看護学科施設整備に対するふるさと融資貸付金を活用した支援(※)	4億円
(2) 福祉、子育て支援の充実	5,174万円
①障がい者授産製品の認知度向上のための販売促進イベント等の開催	2,258万円
②弁護士による児童相談所の相談体制強化	233万円
③ファミリーホームや病児保育施設の整備促進	2,683万円
3 その他	2,470万円
①岩城橋の整備促進	〔債務負担行為114億円〕
②職の担い手フェアの開催や企業と連携した移住促進	1,820万円
③県内プロスポーツ球団と県民との交流会の開催	650万円
3 その他	34億6,868万円
財政基盤強化積立金、地域医療介護総合確保基金積立金など	

(※)は3ページ以降に内容説明を加えています。

◆安全・安心対策予算

9月までの予算を見ると、安全・安心対策予算の伸びが目立ちます(表4)。対前年度30億円(17.8パーセント)の増となっています。全国で、自然災害が多発する中、県民の安全・安心を確保するため重点的に取り組んでいます。

◆道路啓開計画の改定

739万円

道路啓開計画は、災害時等に緊急車両などを通すため、最低限の処理をして救援ルートを確保するための計画です。今回、計画を見直し、啓開目標時間、路線ごとの啓開担当会社の設定等を盛り込みます。

◆中小企業者の資金繰り支援

(融資枠を50億円拡大) 20億円

県内の中小企業が必要とする資金の融資を円滑にし、経営の安定・強化を図るため、中小企業振興資金貸付金があります。当初に全体で47.7億7,000万円を予算化していますが、今回、緊急経済対策特別支援金に20億円を追加し融資枠を50億円拡大しました。緊急経済対策特別支援金の予算は152億円、融資枠は430億円となります。

◆松山空港国際線の安定運航を確保するための支援制度の創設

746万円

県と松山市は、これまで国際線運航会社に空港施設使用料を減免(27年度は2社で計約4,800万円)してきましたが、国際線を守るため新たに着陸料と通信施設や管制施設などの利用料も助成することとしました。10月末から29年3月末までを対象に、県が746万円、松山市が373万円の計1,119万円を予算化しました。

松山空港には、国際線2路線が運航していましたが、韓国アジア航空のソウル便(週3往復)が9月下旬で撤退、残る中国東方航空の上海便の搭乗率も低迷しています。県では、外国人観光客のさらなる増加には国際線が欠かせないものと考え、ソウル便の再開や台湾便の開設に取り組んでいく方針です。

◆聖カタリナ大学看護学科施設整備に対するふるさと融資貸付金を活用した支援

4億円

聖カタリナ大学が、平成29年4月から4年制の看護学科(定員1学年80人)を開設します。学科新設に伴うキャンパス等の整備資金を、ふるさと融資制度(注1)を活用して、無利子で貸し付けま

(表4) 安全・安心対策予算の推移 (9月補正時点)

25年度 152億円	26年度 165億円	27年度 169億円	28年度 199億円
<p>《9月補正》 緊急防災・減災対策 47.7億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難路整備など 34.9 ・砂防、かけ崩れ防災 3.1 ・河床掘削 2.0 ・オフサイトセンター 6.3 ・県立学校 0.6 ・民間施設耐震診断など 0.8 <p>《当初》 防災・減災強化枠 104億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災対策事業 45.0 ・オフサイトセンター移転整備、第一別館改修、避難路補助など 25.7 ・県立学校耐震化 33.3 	<p>《9月補正》 県民の安全・安心確保対策 45.1億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難路整備など 34.0 ・砂防、かけ崩れ防災 7.0 ・河床掘削 2.5 ・県立学校耐震化など 1.6 <p>《当初》 防災・減災強化枠 119.6億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災対策事業 47.6 ・オフサイトセンター移転整備、民間施設耐震改修支援、西条西警察署建替(設計)市町の避難所資機材整備への支援 27.9 ・県立学校耐震化 44.1 	<p>《9月補正》 県民の安全・安心確保対策 44.5億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路・河川整備など 33.1 ・砂防、かけ崩れ防災 8.9 ・河床掘削 2.5 <p>《当初》 防災・減災強化枠 124.4億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災対策事業 42.0 ・消防防災ヘリの更新、防災通信システム整備、民間施設耐震改修支援、市町の避難所資機材や災害情報伝達設備の整備支援など 45.3 ・県立学校耐震化 37.1 	<p>《9月補正》 県民の安全・安心確保対策 44.7億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路、河川、海岸、港湾施設整備 33.3 ・砂防、かけ崩れ防災 8.7 ・河床掘削 2.5 ・公共土木施設応急復旧ガイドラインの策定 0.2 <p>《当初》 防災・減災強化枠 154.4億円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災・減災対策事業 42.0 ・防災通信システムの整備警察署の建替民間施設耐震改修支援など 74.2 ・県立学校耐震化 38.2

す。貸付額は、補助金を除く事業総額の35パーセント以内、貸付期間は15年。

(注1) 県や市町村が、地方債を原資とし、地域振興に資する事業を実施する民間事業者等に、当該事業経費の一部を無利子で貸し付ける制度。(財)地域総合整備財団が、融資案件に対する審査や貸付にかかる支出事務、徴収事務を行います。

◆ドクターヘリの運航経費

4,388万円

ドクターヘリは、来年2月1日から運航開始です。運航は、中日本航空(株)と愛媛航空(株)の共同事業体に委託します(委託期間は平成33年3月まで)。基地病院は、県立中央病院です



導入するヘリと同型のドクターヘリ

が、当面は発進基地(松山空港)と屋上ヘリポート(県立中央病院)待機の併用をします。一般会計に運営管理に係る医療機器の消耗部品やヘリ格納庫等賃借料を計上し、病院会計に搭乗医療従事者の人件費や中央病院のパイロット待機室の維持管理費を計上しています。

【議会質問】

執行部をチェック、監視する役目を負う議会にとつて、最も重要な役割の一つが議会質問です。

9月定例会で、私が注目したのは我党の岡田志朗議員(大洲市・喜多郡選出)の「HACCP(注2)を取得するためには、老朽化しているJAえひめアイパックス(注3)の改造等が必要」との質問と理事者の答弁です。私も昨年12月の初質問でこの問題を取り上げましたが、その際の答弁と比べてかなり前向きなものとなっていました。ベテラン議員の質問だけに、丁寧に答えた面もあろうかと思いますが、それを差し引いても、大きな前進と受け止められる答弁でした。

莫大な費用と関係者の調整など課題の多い問題ですが、県内畜産業が産地間競争、国際競争に勝つために越えなければならぬ山です。議場という公の

場所で、こういった山を一步一步登っていることを肌で感じました。

(注2) HACCP(はさつぷ) 国際的に認められた食品の製造工程における品質管理システム

(注3) JAえひめアイパックス株式会社

大洲市にある県内唯一のと畜場(食肉処理施設)。県内には、明治41年の「松山と畜場」を皮切りに22のと畜場ができましたが、現在はJAえひめアイパックスが県内唯一のと畜場です。

許可年月	と畜場の名称	制限頭数	廃止年月
明治41年10月	松山と畜場	150	平成10年3月
明治42年7月	宇和島市営と畜場 (のちに、宇和島地区広域事務組合食肉センター)	90	平成23年3月
明治42年7月	今治と畜場	50	平成9年4月
明治42年9月	新居浜と畜場	10	平成2年3月
明治42年10月	八幡浜と畜場	15	平成12年3月
明治43年5月	川之江と畜場	5	昭和41年10月
大正15年9月	南郡と畜場(のちに、城辺と畜場)	10	昭和57年3月
大正15年9月	三芳と畜場	5	昭和44年4月
昭和2年12月	野村と畜場	10	昭和48年3月
昭和11年11月	大洲と畜場	10	昭和63年3月
昭和20年12月	久万と畜場	5	昭和44年3月
昭和21年10月	津倉と畜場	2	昭和32年7月
昭和24年10月	伊予と畜場 (のちに、(株)愛媛クミアイ食肉センター伊予工場)	300	平成8年3月
昭和25年2月	西条と畜場	10	昭和44年6月
昭和27年4月	松丸と畜場	5	昭和47年3月
昭和28年11月	宇和町と畜場	7	昭和46年3月
昭和29年4月	大三島と畜場	1	昭和37年10月
昭和29年8月	菊間と畜場	3	昭和43年8月
昭和32年11月	吉海と畜場	90	平成5年11月
昭和40年9月	愛媛県立畜産試験場付設簡易と畜場		平成15年5月
昭和44年3月	プリマハム(株)社四国工場と畜場	550	平成14年3月
昭和55年1月	JAえひめアイパックス(株)と畜場	960	

「畑寺発電所と日本ロジテックの破産」

愛媛県では、エネルギー源確保を目的に水力発電事業を行っています。

畑寺発電所は、平成27年8月から運転開始。再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）の対象となり、1キロワット時当たり29円80銭で日本ロジテック協同組合に供給してきました。契約期間は、平成29年3月末までですが、同組合が電力小売りの登録申請を取り下げたため、3月10日で契約解除しています。同組合は、昨年10月分から電気料金の支払いが滞り、未収金が発生していました。

日本ロジテックは、新電力事業者の中で電気供給量（小売）5番目のシェアを持つ大手でしたが、資金繰りが行き詰まり4月15日、東京地方裁判所に破産手続開始の申し立てを行い、破産手続が開始されています。

経済企業委員会で、このことを質問したところ「県の債権額は、売掛金や四国電力への売電先変更で発生した減収分など合わせて約5,980万円」とのこと。全額回収するのは難しい状況です。

▼愛媛県の電気事業

県営発電所は、いずれも河川の総合開発事業の一環として建設され、三水系

（銅山川、仁淀川、肱川）に9つの発電所（10基）があります。9発電所で最大出力6万7,530キロワット時、年間目標電力量2億7,610万キロワット時で営業しています。

畑寺発電所以外でFITの対象となるのは、銅山川第二（2号機）と富郷の2発電所。それぞれ21円93銭／キロワット時、20円78銭／キロワット時で四国電力に供給。その他は7円73銭／キロワット時で四国電力に供給しています。



畑寺発電所（松山市畑寺町）

集記 編後

▼韓国残留日
本人妻の親睦
団体「芙蓉会」
釜山本部会長

「國田房子さんを囲む会」が、10月19日に松山市内で開催されました。戦後、韓国にとどまった日本人妻は、反日感情の吹き荒れる中、極貧にありえいでいました。そのような残留日本人妻達が集まってきたのが「芙蓉会」です。國田さんは会の中心となつた方で、現在、104歳（日本の年齢計算では101歳でしょう）。西

条市出身で、終戦の1年前にご主人の故郷韓国に渡り、そのまま帰国する機会を失ったということ。豊饒としておいで、百歳を超えているとは思えませんでした。記憶も確か、お話し

生きた100歳の里帰り記念会



講演をする國田さん（右）

も上手で、四国中央市の「藍の会」のアリラン演奏では、踊りだすのではないかと周りが心配するほどです。

▼前号の編集後記のキャプション。年を重ねているという意味で「臺が立っている」と書くところを「糖がたっている」と書いてしまいました。ひらがなの方がよかつたかなとも思っています。間違えるにしてもちよつと恥ずかしい間違え方でした。訂正いたします。

『けんかえれじい (全2巻)』

著者：鈴木 隆 出版：角川文庫



童話作家鈴木隆の長編小説で、ユーモアあふれる青春小説であると同時に、昭和の初めから20年にいたる世相と軍隊を語る反戦小説です。

昭和33年から同人誌に掲載がはじまり、最終的に昭和41年理論社から単行本として刊行されています。その後、何度か出版社を変えて読まれ続け、角川文庫から昭和57年に文庫本として刊行されました。角川文庫でも、何度か版を重ねていますが、今はそれも絶版になっていると思います。

単行本として刊行された昭和41年に監督鈴木清順、脚本新藤兼人、主人公の南部麒六に高橋英樹、ヒロイン道子に浅野順子などの配役で映画化され、高い評価を得ました。また、昭和48年には、当時午後6時の時間帯に放送されていた「NH

K少年ドラマシリーズ」でテレビドラマ化されています。小説よりも映画やドラマの方が有名で、私と同年代の皆さんならどちらも観た記憶があるのではないのでしょうか。ただ、映画、テレビドラマとも、内容は、1巻の半分くらいのところまでで、戦争を前にした暗い時代の雰囲気はあるもの、おそれから熱血痛快な物語となっており、作者の意図からは少しずれています。2巻では、麒六は陸軍の山砲隊に入隊、最後は中国大陸を敗走し、破傷風に倒れ、死線をさまようなかで軍隊から姿を消します。麒六の生死は書かれませんが、生き残れないのは明らかで、暗い読後感となります。

ただ、作者の文章には張りがあり、表現は個性的でユーモアがあふれ、何より明快です。岡山弁や会津弁の会話が醸し出す何とも言えないコミカルな雰囲気、暗い読後感を和らげてくれます。

【^{すずき}鈴木 ^{たかし}隆】

1919年(大正8年)～1998年(平成10年)。日本の児童文学作家。岡山県生まれ。旧制岡山中学校から会津の旧制喜多方中学校に転校。早稲田大学文学部卒。早大童話会経由で坪田譲治に師事して童話作家となる。

「けんかえれじい」は、自伝的小説ではあるが、小説であって実録ではない。鈴木は、角川文庫のあとがきで「何処までが事実で、何処までが虚構か、その辺、実は作者自身にも模^も糊^もとしている処が多い」と書き記している。

愛媛県議会議員

松下行吉 まつした ゆきよし

〒791-2141 愛媛県伊予郡砥部町岩谷口 135

TEL 089-969-3605 FAX 089-969-3606

Email : matsushita31@iyo.ne.jp

<http://www.iyo.ne.jp/matsushita31/>

